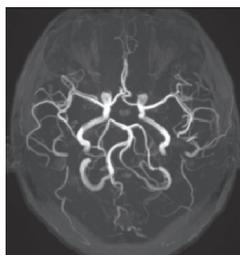


新しいMRIのご紹介

今まで使用していたMRI SIEMENS 1.0T Harmony の入れ替え工事が完了し、2020年1月6日よりSIEMENS 3.0T skyra が稼働し始めました。前回の装置とどのように変わったかご紹介します。

MRI とは、核磁気共鳴画像 (Magnetic Resonance Image) の略で、X 線を使用しない検査です。磁石と電波の力を使用し体内を画像化します。狭いトンネル状の筒の中に入り、撮影する部位にコイルという機械を取り付けて撮影していきます。検査中は工事現場のようなうるさい音が鳴り、撮影時間は20分～30分程度、場合によっては1時間近くかかることもあります。またMRAという撮影では造影剤を使用せず、血管等の情報を得る事ができます。T (テスラ) とは磁石の強さの単位で、磁場の力が強いほうが短い時間で高画質な画像を得ることができます。

3.0T は現在の臨床で使用されている装置の中では一番高い磁力を備えています。手、足、肩など各部位専用のコイルも導入されたため、これまで以上により詳細な画像が撮影できるようになりました。MRA もより末梢の血管まで描出できるようになります。また以前の装置と比べて



トンネルが短く、口径が広い装置なので、圧迫感の少ない環境で検査をうけていただくことができます。



しかし磁場の上昇に伴い撮影室内への金属の持ち込み、体内金属等がある方への注意がより必要になります。高い磁場の影響で、金属を身に着ているとMRI装置に引き付けられ飛んだり、撮影部位に体内インプラントがあると画像がより歪みやすく検査に支障をきたす場合がありますからです。また、化粧品等 (マスカラ、アイメイク、薄毛隠し用の粉など) は磁性体を含む場合があります。そのため、出来れば付けずにご来院ください。当院では1.5TのMRIも稼働しています。3.0Tよりは金属の影響を受けづらいので撮影部位にインプラント等ある場合は1.5Tで撮影することも可能です。検査を受ける際ご確認をお願いいたします。

MRI の検査で不安、疑問がある方は気軽に放射線技師にお尋ねください。

